

## ひと・夢・まち 町長コラム

### 良い言葉によって心が晴れる（令和4年9月号）

先月の豪雨時(8月3日～4日)に中山中学校に避難された方より感謝のお手紙をいただきました。高齢者と乳児もおられる家族の方で、コロナ感染の心配、足の悪い曾祖母の休める場所や授乳できる場所があるのか等々不安を抱えながらの避難のようでしたが、テントなどの設置やスタッフの夜を徹しての気持ち良い対応で大変助かったとのことでした。そして、「ある格言に「良い言葉によって心が晴れる」という言葉があるように、設備面の充実も大切ですが、やはり心を安化させるのは気遣いの言葉だなと感じました。」と寄せてくださりました。

町はおととしの豪雨災害の教訓を生かし、避難施設の環境整備を含めた地域防災計画を見直しました。中学校と総合体育館の両避難所では、プライバシーの確保とできる限りの感染予防対策として、二人用のテントと簡易ベッド・椅子などを用意しています。受付時には町民の方の状況把握に努め、家族に合った場所の提供、避難者の気持ちに寄り添った対応に心掛けています。

気候変動による豪雨災害が多発している昨今、防災強化は重要施策です。そのような中で今回のお手紙は、職員並びに関係者にとって大変励みになりました。投してくださった方へ私からも感謝です。そして、ボランティアで手伝ってくれた高校生にも感謝です。